

家族用防災用品キット

家族用の防災用品キットを用意する。

大地震や天候による非常事態が起きた後、場所によっては電気、水道、輸送機関など重要なシステムが数日間、あるいはそれ以上の期間中断されることがあります。緊急時の対応が必要な行政機関や病院は圧倒されて、すぐに支援を行うことができないかもしれません。応急手当をしたり防災用品を持っていることで救命に役立ったり、生活をより快適にしたり、次の地震の後にうまく対処したりできます。

防災用品を持っていることで、地震や大雪など緊急時に自分自身や家族に与える影響を減らすことができます。

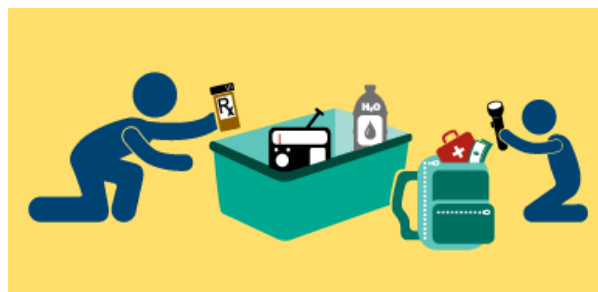
災害用品を便利な場所にまとめる。

建物の被害が大きい場合でも、すぐに取りれるように最も時間を多く過ごす場所に災害用品を保管します。

キットは多くの緊急事態に役立つ。

防災用品キットには食料、水、懐中電灯、携帯ラジオ、電池、応急処置用品、現金、余分の薬、笛、消火器などを入れます（以下のリスト参照）。

大きめのキットは自宅に、小さめのキットは自家用車に保管し、そして、すぐに自宅から避難できるように携帯用緊急キットも用意します。避難するときに持ち運びが便利のように、携帯用緊急キットはリュックサックや小さめの袋に用意します。



家族の防災用品キット

次の用品は最低3日分、できれば2週間分を用意します。

- 水（一人1日約4リットル以上）
- 缶詰、加工食品
- 缶切りなどの調理道具
- 薬
- 洗面道具（せっけん、歯磨き粉、衛生用品）
- 必要であれば、おむつ、ベビーフード
- ペットフード、ペット用ハーネス
- 余分なソックスなどゆったりした防寒衣
- 毛布、寝袋、テント
- 保険証書など重要な書類のコピー
- 携帯ラジオ、余分な電池（あるいは、手回しラジオ）
- 追加の懐中電灯、夜光棒
- ガスや給水栓を切るレンチ
- 作業手袋や防護眼鏡
- 捨てたり、ブルーシートや雨用ポンチョなどに使ったりするための丈夫なビニール袋
- 屋外用調理器具

水、食品、薬、電池などの消耗品は1年ごとに使ったり、交換したりします。

